

第33回 「わたしの住むまち」 絵のコンクール入賞作品の紹介(1)



最優秀賞 「本町通りの夕暮れ」 風間 葵さん(小須戸中3年)
夕暮れの景色の色合いと、道路の色作りに苦労しました。

違ひの感もありましたが、実行委員会の熱意に答える貴重な一石でもありました。



ステージターの上で、パフォーマンス

小須戸甚句の唄声にのり、五人がいつハロウイン仮装まつりの仮装コンテストに参加してきました。少々場

おがめの仮装で 小須戸を明るくPR

「第5回にいつハロウイン仮装まつりに参加して、

小須戸名代の、おかめシスター」五人がいつハロウイン仮装まつりの仮装コンテストに参加してきました。少々場

に被写体として狙われ、うるたえました。

仮装バーレードにも参加し、両手に余る商品までいただきました。秋晴れのよう爽やかな一日でした。

小須戸おかめシスターズ
リーダー 馬場綾子小須戸

若い皆さんを中心でしたが、被写体として狙われ、うるたえました。

仮装バーレードにも参加し、両手に余る商品までいただきました。秋晴れのよう爽やかな一日でした。

小須戸おかめシスターズ
リーダー 馬場綾子小須戸



結と天ヶ沢のコンビでコンテストに出た児童



コンサート本番前の小林健次さん

A 「科学映画とクラシック音楽を同時に鑑賞するのは、娯楽性もあり関係もあると思うのですが、長かったので皆さんが退屈されてしまうのではないかと心配でした。でも想像以上に喜んで頂けたようで、嬉しく思います。とても温かい雰囲気を演奏

Q1 「科学映画とコンサートの集い」の会場の客席の雰囲気はどのようにお感じになりましたか。

Q2 今日の行事をお迎えにいたしましたが、この風変わりな企画が当日スクリーンテストも含め、「この風変わりな企画が受け取られるか心配でしたが、ちでいらされましたか。

Q3 イベントを終えて一言

A 「恩師のゴーリードベルグ先生も父・小林米作も故人になりましたが、これからは戦争の犠牲をはらばずに生きて、最後まで緊張していいと思いました。有り難うございました!」

A 「小須戸を語りに思つていらしゃる方々にお会い出来て、本当に幸でした。心からお礼申し上げます」

参加者大募集!

矢代田小学校 健康家族教室

ホットキッズ大作戦!!

~寒い季節、体を動かして“ホット”になろう~

開催の趣旨 家庭や地域と連携して、児童の体力向上や生活習慣の改善に取り組む。

期 間 平成23年11月～平成24年3月の間の毎月第2木曜日

対 象 矢代田小学校の児童（保護者や一般の方も歓迎します。）

会 参 加 料 矢代田小学校（体育館）

主 催 小須戸地区公民館

共 催 山の手コミュニティ協議会

活動プログラム

回数	期 日	テ マ	指 導 者
1	11月10日(木)	「高校生のお兄さん、お姉さんと遊び」※すでに終了しました。	新津南高等学校の先生と学生
2	12月8日(木)	「笑いヨガ体験+軽い体操」等	村山昭子さん(戸内在住)
3	1月12日(木)	仲間づくりレクリエーション	にいつレクリエーション協会 小林博さん
4	2月9日(木)	「小学生親子のためのわがりやすい生活改善教室」(仮題)	新潟薬科大学准教授 佐藤眞治氏(薬学博士)
5	3月8日(木)	「ダンス」	レクアジニア

主 催 小須戸地区スポーツ振興会
申込先 武田力弥
主 催 秋葉区フットサル大会へ参加しましよう。

会 場 小須戸体育館
会 費 千円(保険料含む)
対 象 今回、社会人です
日 時 十二月十四日(水)、二十
一日水)、二十九日(水)、十八日
(水)、午後七時~九時
講習後一月二十二日開催の
秋葉区フットサル大会へ参加しましよう。

フットサルで汗を流しませんか
初日の出登山のご案内(護摩堂山)

元旦(1月1日)午前5時
に公民館集合、バスで出発
参 加 費 500円
甘酒の用意あり
申込み締切 12月10日(火)
申込み・問合せ 渡辺欣一
☎090-9001-4084



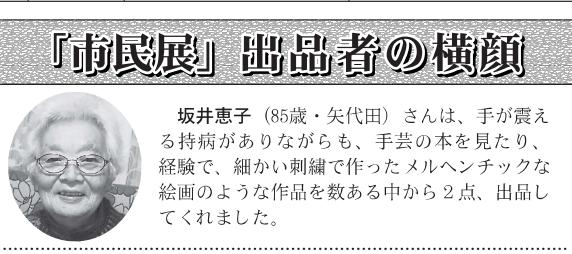
静かに集中して、勉強していました

子ども達の笑顔が絶えず元氣いっぱいの小須戸ひまわりクラブ。様々な遊びの中で新しい発見や感動があり、子ども達の成長がみられます。

子ども達の笑顔が絶えず元氣いっぱいの小須戸ひまわりクラブ。様々な遊びの中で新しい発見や感動があり、子ども達の成長がみられます。心が生まれ、友達のために声かけをしたり行動する姿が多くみられます。またクイズをだし合ったり、お楽しみ会に向けてオルガンからは美しい連弾の音色が聴こえます。子ども達が互いにコミュニケーションを取り楽ししく過ごしている様子を見ることがあたたかくなります。何事にも一生懸命で友達思いの子ども達。今後の成長も楽しみです。

シリーズ「今、子どもたちは」

小須戸ひまわりクラブ指導員



坂井恵子(85歳・矢代田)さんは、手が震える持病がありながらも、手芸の本を見たり、経験で、細かい刺繍で作ったメルヘンチックな絵画のような作品を数ある中から2点、出品してくださいました。



保科四郎次(73歳・千葉市美浜区)さんは、矢代田出身で昭和28年に小須戸中学校を卒業された「二八(にっぽち)会」のメンバーでもあります。中学生時代の恩師、佐藤一男(水田)さんの要望で昨年から2年続けて市民展へ版画を出品され、ご本人も公民館に来訪されました。

主 催 小須戸地区スポーツ振興会
秋葉区サッカーカースポーツ少年団
申込先 090-1439-913623

ドッヂボールの時間になる
と「ボールする人ー!」と二
階にいる友達に元気よく声を
叫びながら順番を譲つてあげたり、協力して
パズルに挑戦している子どもも
達もいます。このように遊び
を通して他者への思いやりの



明るく元気な子どもたち